

事業所名		こあ きっず ばいん				支援プログラム				作成日		2025 年		2 月		15 日						
法人（事業所）理念		保護者の方がひとりで悩まず色々なことが相談できる地域資源のひとつを目指す																				
支援方針		・子どもたちが色々なことに挑戦してたくさん発見を行い、あんなことやこんなことをやってみたいと挑戦できるやりたいこと探しや“やっても無理” “どうでもいい” ではなく自分を大切にしたり、自分が好きと思える取り組み。																				
営業時間		火曜～金曜								9	時	30	分	から	17	時	30	分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜								9	時	0	分	から	15	時	0	分	まで			
		支 援 内 容																				
本人支援	健康・生活	・登所時から1時間に1回の検温チェックを行い、朝礼時に怪我の確認、体調確認を行います。 ・衣服や室温の調整・換気・消毒などの環境整備を行い、日々の安全確認を行います。 ・生活習慣や生活リズムを整えていけるように、定期的な通所を行います。																				
	運動・感覚	・楽しみながら体を動かせるように、音楽に合わせて体を動かせる活動を取り入れています。 ・ボール遊びや微細運動を通して、身体の使い方の向上を目指しています。 ・小麦粉粘土やクッキングを行い、感覚の認知形成を行います。																				
	認知・行動	・朝礼時や個別療育の中で、天気・気温・日付の感覚や把握・数字への認知形成・文字への興味を持てるような取り組みを行います。 ・小集団の中でルール遊びなどを行い、ルール理解や他児との距離感・空間の把握を身につけます。 ・日々の関わりの中で、児童の感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性の予防及び適切な行動への支援を行います。 ・1日のスケジュールを確認し、タイムスケジュールの確認を行ったり、時間に対する支援を行います ・自分の困りなどを認知した上で、行動できるよう支援を行います。																				
	言語 コミュニケーション	・始まりの会や終わりの会時に、今の気持ちを自分の言葉で伝えたり、活動への振り返りなど言葉の表出できる機会を設けています。 ・個別療育の中で、子どもたちに合わせて読み書きを行うなどの支援を行います。 ・小集団の中で、ルール遊びを通して他児とのやり取りや他児への伝え方などの言葉の表出の支援を行います。 ・日常生活の中で、絵カードなどを用いて視覚化を行っています。 ・指差しやジェスチャーなどを使用し、子どもたちに合わせて多様な手段を用いて情報取得や意思疎通が行えるような支援を行います。 ・コミュニケーションの基礎的なやり取りの向上を行い、状況に応じたコミュニケーションを行います。 ・相手への伝え方や相手の気持ちに寄り添えるような関わりを行える支援を行います。																				
	人間関係 社会性	・事業外での活動の中で、社会ルールを経験を行います。 ・日々の関わりの中で、他児に対して興味を持ったり、やり取りを身につけていきます。 ・自由遊びを通して、子どもたちの社会性の発達や対人関係の構築を行っていきます。 ・療育の中でSSSTを行います。																				
家族支援		・保護者面談や送迎時のコミュニケーションなどを通して、家族のさまざまな悩みや不安の相談援助を行います。 ・子どもたちの特性に配慮した家庭での環境整備の提案を行います。 ・アタッチメントの安定を行っていただけるような援助を行います。								移行支援												
地域支援・地域連携		・小学校・医療機関などとの情報の連携や支援方法や環境調整や家族支援に繋がっていただけるような連携を行います。								職員の質の向上				・週1回の全体会議を行い、情報の共有を行っています。 ・月1回の検討会を行い、職員の質の向上を目指しています。 ・外部研修に積極的に参加を行っています。								
主な行事等		・4か月に1回保護者会 ・季節に合わせた活動(クリスマス会・節分・ひな祭り・夏まつり・ハロウィンなど) ・月1回避難訓練																				